

## クアブラザピリカに行ってきました！！

今回のコーナーは、クアブラザピリカに行き、小西支配人に取材をしてきました。

○今期は雪が多くて、スキー場が盛況だったと伺っています。その様子を教えてください。

\*スキー場のオープンは、例年ですとクリスマス頃、前季は年明けの1月に伸びました。今季は、12月19日に予定通りオープン出来た事が、大きかったです。コロナ禍ではありましたが、「ここだったら大丈夫」という逆の効果があったようで、集客が前年比120%強ありました。また、土日の天気が比較的良かったので、駐車場はいっぱいになり、道路にも駐車をしている状況でした。ナイターも火・木・土、学校の冬休み期間は毎日営業していました。中には、兵庫から毎年10年間来てくださっているお客様もいらっしゃいました。

○昨年は、キャンプ場にテントが多く見られましたが、キャンプ場の利用状況やこれからの取り組みも合わせて、教えてください。

\*コロナ禍で、近隣のキャンプ場が閉鎖されていたり、温泉があるという利便性もあり、利用者が多かったです。キャンプ場の利用券に、温泉の利用券もセットにしています。また、雑誌のじゃらん「手ぶらキャンプ」のプランを載せると、高いプランの利用が多かったです。キャンプ道具を揃えるには費用が掛かり、後始末も大変なので、気軽に出来るのがありがたいと喜ばれました。今年は、パークゴルフ場をフリーキャンプ場に、スキー場のレストハウス前を「手ぶらキャンプ場」にして、車が乗り入れ出来るようにする予定です。新しい取り組みとして、今年は試験的にはなりますが、カブト虫、クワガタの発生が確認出来たので、ネットハウスを設置し、子供達の体験の場として、楽しんでもらいたいと思っています。

○昨年のいちご狩りをした人に聞くと、1グループ毎の予約制だったので、安心して楽しめたという事でしたが、今年の予定は、どのようになっているか教えてください。

\*いちご栽培は、土では雑菌が入りやすいので、ココナッツの繊維で出来たココブロックで栽培し、管理のほとんどは機械で行われています。いちご狩りは好評で、ホテルでの販売が足りなくなりました。今年は一棟増やして、1か月遅らせて栽培する事で、いちご狩り、ホテルでの販売、町内の事業所への販売が充分間に合うようになります。キャンプに来ているお客様のご利用も、とても多く、リピーターも増えています。いちご狩りの担当は、高等養護学校の卒業生が積極的に頑張っています。

○クアブラザピリカのアピールをお願いします。

\*雑誌じゃらんのサイト、クアブラザピリカのホームページ、SNSで発信しています。全室にエアコンを付けて頂いたので、お客様には大変喜ばれています。近隣の日帰りのお客様も、お湯が1番良いとあって、通って下さる方が多いです。交流棟も稼働率は良く、大広間も5、6人で、宿泊を希望される方も増えてきています。運営面では、それぞれのスタッフが、色々な部署を手伝って、協力してやる事が自然に出来ているので、効率的に仕事をしています。昨年の夏からは、宿泊客も戻ってきて、年末年始はキャンセルもありましたが、キャンプ場、スキー場のお客様は、大変増えています。滞在して、そこで色々楽しめる場所として、色々な取り組みをしていきます。年々、少しずつですが、上向きの経営状況ですので、頑張ってます。

●コロナ禍ではありますが、意欲的に色々な取り組みをして、スタッフが1つになって、お客様のおもてなしをしている事が分かりました。

これからの益々の発展を楽しみにしています。

是非、皆様もクアブラザピリカに足をお運びください。

笑顔のおもてなしが待っています。

(副委員長 小川ひとみ)

